



(1) 愛知縣日光川改良工事の防潮樋門工事中の全景

## 愛知縣日光川改良工事

### 防潮樋門の最新施工

防潮樋門工事中を上流側より見たる景

樋門の長	76間5分
徑間	35間 15徑間
路面有効幅	4間
敷幅	26間

愛知縣土木部河港課直營工事

工費約	70萬圓
著手	大正十三年十二月
竣工豫定	昭和四年十二月
位置	愛知縣海部郡蟹江町

### スランプテストは容易に其工事を完全にする

鐵筋コンクリートで建造したから強度は大丈夫である……と云ふ辯解は能く聞く事であるが、幾ら鐵筋を入れても、其鐵筋ご合體する處のコンクリートの施工が不良であつたら以上の辯解では安心出来ない事となる。

現在の如く鐵筋コンクリート工事が流行しては次の大地震が思ひやられる、それは鐵筋が悪いのではない、コンクリートの施工が餘りに舊式であるからだ。大なる一回まりの建物が如何なる被害をうける事であらう。

混凝土を合理的に完全に施工する事は何も六圖ヶしい手数は要しない、改めてフォーマ

ンを養成する必要もない、先づ氣の利いた人夫を一人置いて一日に二回位づゝスランプテストを實行させる事である。而して監督技師に報告させる、主任者自らスランプを取る必要はない、然しなるべく主任者の眼前でテストしなければならぬ、而して主任者は必ず毎日スランプテスト・カードを検閲してチェックすれば良い。愛知縣の河港課が防潮樋門工事にスランプテストを實行せる状況は其一端にすぎないが斯る経験が非常な工事進歩の過程を作りつゝある。



(2) 防潮閘門工事の基礎鉄筋組立並に混凝土施工中の景



(3) 同、混凝土工事のスランプテスト